

## ポリファーマシー対策チーム

薬剤部

能澤 真希子

令和4年度、厚労省の高齢者医薬品適正使用推進事業のモデル市として魚津市が選ばれ、魚津市医師会、魚津市薬剤師会、魚津市と共に協議会を設置し、地域連携で行うポリファーマシー対策に取り組んできました。この時に院内で構築されたポリファーマシー対策チームが、現在も活動しています。

医師・薬剤師・医療安全管理者・看護師・管理栄養士から成るこのチームで、月に1度症例検討会を行い、各職種の意見を出し合う場となっています。

当院にはチーム医療の取組みとして緩和ケア、栄養管理、排尿ケアなど専門的な面から意見を出し合う検討会もありますが、当チームも同様に多職種が集まり症例の検討をしています。看護師による生活面のケア、管理栄養士による食事や栄養剤での調整等による減薬の可能性を聞く事ができ、ポリファーマシー対策の一助となっています。

さて、ポリファーマシーとは、「複数」を意味する「poly」と「薬」を意味する「pharmacy」からなる、「多剤服用」を意味する言葉です。ポリファーマシーは、単に服用する薬剤数が多いことだけではなく、それに関連した薬物有害事象のリスク増加、薬の飲み間違いや飲み忘れ等の問題につながる状態をいいます。

入院した主病名に関連した薬剤はもちろんですが、それ以外の薬剤についても生活環境や病態の変化に応じた変更・削除について検討します。時には追加する薬剤の必要性についても検討しています。入院時だけでなく、退院してからも安全な薬物療法が継続出来る様に、病診連携・薬薬連携を通して働きかけております。

ポリファーマシー対策を通じて、地域の皆様へより良い医療を提供してまいります。



### 面会制限の緩和について

新型コロナウイルス感染症対策として面会を禁止しておりましたが、段階的の面会を再開しております。詳細につきましては、院内掲示または当院HPをご参照ください。

発行：独立行政法人労働者健康安全機構 富山ろうさい病院総合サポートセンター（6月1日より名称が変更となりました。）

富山ろうさい病院だよりは、当院ホームページ（URL <https://www.toyamah.johas.go.jp/dayori/>）

にも掲載しています。

【お問い合わせ先】TEL(0765)-22-1280（病院代表）



富山ろうさい病院だよりのバックナンバーはこちらのQRコードからも確認できます。